

事項	委員からの意見	対応方針
道路・交通環境について	駅前などの市内各地で渋滞が発生しており、港湾の対応とあわせて港湾への道路についても課題が無い か検討が必要。	港湾からの発生集中交通量を見定めつつ、道路管理者と連携して対応して参る。
定期航路の誘致について	RORO船の誘致については、坂出港は四国の扇の かなめ（北側の玄関口）に位置しているため、物量 があれば、四国の玄関になりうる。	香川県内1000社以上にアンケート調査を実施中。 最終とりまとめまでに、結果を集計予定。
交流・観光について	観光客を坂出港周辺に呼び込むのであれば、標識 などのルールをしっかりとっておかなければトラブルの基と なる。	観光客等を呼び込む交流・観光ゾーンは市街地付近の西運 河地区等にオープンスペースを確保し、物流・生産ゾーンと分 離するように、ふ頭の再編を行うことをニューポートプラン（以下 「計画」という）に位置づける。
	人が集まる場や防災時にも資する空間として、市街 地付近にオープンスペースがあると良い。	
	瀬戸大橋が日本の20世紀遺産の一つに選ばれた が、瀬戸大橋を坂出の観光資源として見直せない か。	
防災について	港湾BCP等について、計画をつくって終わりではなく、 いざというときに実行できるよう粛々と訓練を実施して いくことを付け加えてもらえればと思う。	官民の関係者が訓練等の継続的に取り組み、坂出港BCPの 見直し・改善を行っていく。
フォローアップの体制について	「未来の坂出港づくり懇談会（仮称）」の設置につ いて、概念図を見る限り、観光関係のメンバーが少 なく、物流面に偏っている。	「物流」、「観光・交流」、「安全・防災」等分野が多岐に渡るた め、適時、検討課題毎にワーキンググループ等の場を設けて、 検討していくことを位置づける。
プランのとりまとめ方法について	プランを取りまとめる際は、文章だけではなく、図やイ ラストなども盛込んで読みやすい工夫をすること。	取りまとめの際は、概要資料と本編を作成し、本編にも図・イラ ストなどで読みやすい工夫を行う。